

モニタリング結果報告書 (令和4年度)

1. 施設概要

施設名	座間谷戸山公園		
所在地	座間市入谷東1丁目地内		
サイトURL	http://www.zamayatoyama.kanagawa-park.or.jp/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成5年4月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会		
指定期間	R4.4.1 ~ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (厚木土木事務所 東部センター)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p> <p>利用状況の評価はS、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はAで、3項目評価はSとなった。 指定管理者は、新型コロナウイルス感染防止のための対策を実施しながら、これまで積み上げてきた県民協働による維持管理・管理運営を着実に継続して実施し、前指定管理期間に引き続き高い満足度を収めた丁寧な管理運営を行っている。また、ナラ枯れについても積極的に対策に取り組むとともに猛毒キノコ(カエンタケ)の発生では、パトロールの強化、徹底した除去作業や利用者への情報提供などきめ細やかな対応を図り利用者の安全を確保した。さらに公園まつりなどのイベントに新たな試みを加え利用者の増加につながるなど、極めて良好な管理運営を行っていたと評価する。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <ul style="list-style-type: none">◆管理運営等の状況 事業計画書の内容のとおり、里山環境の再生と明るく快適な空間づくり、里山体験や健康づくりの場の提供、連携協働を通じたより良い公園づくり、防災機能の確保等を実施した。◆利用状況 新型コロナウイルス感染症及びその感染拡大防止の観点から中止になっていた「公園まつり」などのイベントが再開となったことから、利用者数は昨年度利用者の112.3%となり、目標達成率も111.8%となりS評価となった。自然生態を活かした公園であり、利用者数は天候に大きく左右されるが、指定管理者は、里山体験や健康づくりの場や授乳スペースの提供などのサービス向上で利用促進に取り組んでいる。◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が90%を上回ったため、S評価となった。◆収支状況 収入は自販機利益が当初予算額を325千円下回ったが、支出は、原油価格高騰に伴い電気代等が高騰した影響を受けたが、結果的には当初予算額を609千円下回り、収支比率は100.5%となったため、A評価となった。◆苦情・要望等 手紙による要望が1件あったが、施設整備に関するものであり、指定管理に関するものではない。◆事故・不祥事等 倒木による施設破損が1件あったが、適切に対応した。◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査及び労働基準監督署からの指摘事項はなかった。◆その他 なお、令和4年度の3項目評価についてはS評価とした。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。
S	S	S	A	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	隔月実施	コロナ禍における施設の管理運営上の課題等を情報共有した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>明るく・安全・快適な里山環境の実現、里山体験の充実</p> <p>○長期的な視点に立った里山林管理</p> <p>○危険木の早期発見と継続的な危険木処理</p> <p>○自然観察会など里山を楽しむ様々な体験プログラム</p> <p>○ボランティアと連携した里山林保全活動</p>	<p>・現在はナラ枯れ被害の拡大防止を優先に里山林管理を行っている。</p> <p>・ナラ枯れの被害状況について、東部センターに情報提供をするとともに、指定管理者自らも対策を実施した。</p> <p>・自然観察会を毎月、ネイチャーゲームを四季ごとに実施した。</p> <p>・里山保全隊による活動を行った。</p>	<p>提案した内容は実施され、着実な里山環境の保全・活用が図られた。</p> <p>また、全県的に被害が発生しているナラ枯れについて、積極的に調査を行い、実態把握に努めたことや、指定管理者自らも対策を行ったことは特筆に値する。</p> <p>今後も環境保全と効率的な維持管理の両立のため、努力と工夫を期待する。</p>
<p>生物多様性を持続させる細やかな管理の実施</p> <p>○エリアごとの生き物と共生する植物管理</p> <p>○ボランティアと連携・協働した動植物の調査・保全等</p> <p>○生物多様性を低下させる外来生物の戦略的防除</p> <p>○園内で収穫したもち米・野菜を「地域の子ども食堂に提供」</p> <p>○園内の植物や動物をわかりやすく解説・SDGs実践普及の場として「やとやま学校」の開設</p>	<p>・エリア別植物管理計画図に基づいた計画的な植物管理を行った。</p> <p>・ビオトープ池を創出した。</p> <p>・ボランティアと連携・協働した動植物のモニタリング調査及び保全活動を実施した。</p> <p>・メリケントキンソウ除去、アライグマ駆除等を行った。</p> <p>・園内で収穫したもち米・野菜を地域の子ども食堂に提供した。</p> <p>・麻布大学環境教育研究会主催による「谷戸山公園でSDGsグリーンマップづくり」のワークショップが開催され、環境問題に興味のある市民の親子や、座間市職員の参加もあり好評だった。</p>	<p>ボランティアと連携・協働しつつ本公園の環境を持続できるよう、丁寧に保全活動に取り組んでいる。指定管理者自らも池を創出する等生物多様性への積極的に取り組む姿勢が見られ、さらに公園の魅力を発信して地域の子供たちを巻き込んだ管理に期待する。</p>
<p>みんなでつくる、より良い公園づくり</p> <p>○谷戸山公園運営会議など市民参加型公園管理運営</p> <p>○地域や関係団体と連携したイベント等</p> <p>○新たなボランティアの育成</p> <p>○公園で活動する多様な団体等の発掘</p>	<p>・年間10回の運営会議で、利用団体等との意見交換を行った。</p> <p>・谷戸山公園まつりなどのイベントを開催した。</p> <p>・新たなボランティアの育成、公園で活動する多様な団体等の発掘については、実施に向けて調整中。</p>	<p>これまで築かれている運営会議やボランティア団体との連携は継続され、よりよい公園づくりにつながっている。</p> <p>新たな活動団体については、共同連携の輪ができることを期待する。</p>
<p>イキイキと暮らせる多様な公園利用の促進</p> <p>○健康づくりなど、多様な公園利用のためのレクリエーションプログラム</p> <p>○森林セラピーロード認定等の取組・地域や関係団体等と連携した広域利用</p> <p>○外国人利用者、障がい者、子育て世代など多様な利用者ニーズへの対応</p> <p>○小田急電鉄などと連携した情報発信、広報による公園利用</p>	<p>・健康づくりとして、ノルディックウォーキングを開催した。</p> <p>・座間市長へセラピーロードの説明を行った。</p> <p>・授乳コーナーを2箇所設置した。</p> <p>・小田急電鉄と協定を締結した。</p> <p>・自動翻訳機導入については、未実施となった。</p>	<p>様々な方々が様々な利用ができるような公園を目指して地域や関係団体と連携を着実に進めている。多くの方に親しまれ、喜ばれる公園になることを期待する。なお、未実施となった自動翻訳機導入については、早期実施が望まれる。</p>

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
県立都市公園PRのためのカレンダーの有償配布を行った。	計画どおり事業を実施した。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
S	

	前々年度	前年度	令和4年度
利用者数※	361,687	411,277	461,672
対前年度比		113.7%	112.3%
目標値	399,300	399,300	413,000
目標達成率	90.6%	103.0%	111.8%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数と団体利用者数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響と対応状況】

（※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

- ①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響
新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照
- ②令和4年度の対応状況
新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

7. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様のS評価であり、満足度が2.8%高くなった。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか
 実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 206 / 215 = 95.8%
 配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	137	63	1	5	0	206	全体的にきちんと管理されている。
回答率	66.5%	30.6%	0.5%	2.4%	0.0%		
前年度の回答数	58	25	2	3	0	88	
前年度回答率	65.9%	28.4%	2.3%	3.4%	0.0%		
回答率の対前年度比	100.9%	107.7%	21.4%	71.2%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響と対応状況】 (※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照
②令和4年度の対応状況 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計		支出	収支差額
前々年度	当初予算	69,200	0	2,003	自販機 2,003	71,203	71,203	0	
	決算	69,200	0	2,733	自販機2,286 雇用調整助成金 447	71,933	71,066	867	101.22%
前年度	当初予算	69,200	0	2,003	自販機 2,003	71,203	71,203	0	
	決算	69,200	0	2,041	自販機 2,041	71,241	71,230	11	100.02%
令和4年度	当初予算	61,519	0	2,300	自販機 2,300	63,819	63,819	0	
	決算	61,519	0	1,975	自販機 1,975	63,494	63,210	284	100.45%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和4年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響
原油価格高騰の影響については「2.総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
原油価格高騰の影響については「2.総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
	手紙	1 件		
施設・設備		件	健康遊具を設置してほしい。	本公園のコンセプトに合致しない為、県として早急な対応は困難と判断している。差出人の連絡先不明。
職員対応		件		
事業内容		件		
その他		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R4. 6. 27	①倒木による施設破損があった。（手すり 2 スパン） ②写真により確認した。 ③負傷者無し（再発防止策：高木の腐食の緊急調査） ④無 ⑤手すり破損部について、指定管理者直営で補修した。緊急伐採は県で発注した。 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。